



令和7年度 対馬高校スローガン:New Color , Various Colors ~あなたらしい色で、新しい色を~

☞☞校長室の窓☞☞

桐鳳祭を終えて

木々が色づき始め、吹く風にも秋の到来を感じる季節となりました。「実りの秋」です。この言葉に、単に自然の恵みだけでなく、努力の成果という意味も込めたいと思います。今、対馬高校の皆さんも日々の学びや活動の「実り」を手にする時期を迎えています。

その象徴が、先日の桐鳳祭でした。準備期間も含め、どのクラス・部も本当によく頑張りました。展示や発表そして企画に、それぞれの工夫や個性、そして新たな挑戦が散りばめられていました。「実りの秋」です。そして、何よりもそこには、「協働の力」が溢れていました。対馬高校にしかできない文化祭です。そして、それを支えたのは実行委員会の皆さんの献身と挑戦でした。本当に頭が下がります。心から「ありがとう」の言葉を伝えたいと思います。

今回の桐鳳祭を通して、対馬高校のスローガン「New Color , Various Colors」を改めて実感しました。一人ひとりが自分の色を発揮し、その多彩な色が重なり合うことで、一枚の大きなキャンパスのような桐鳳祭が完成しました。個性や考え方の違いから、意見が衝突することもあるかもしれませんが、その違いを認め合い、尊重し合うことから、新しい価値や創造は生まれます。それが「協働の大切さと喜び」なのです。これを経験できたことは皆さんの人生において、貴重な財産になると信じています。

秋は「収穫の季節」であると同時に、「次の種をまく季節」でもあります。体育大会や桐鳳祭を終えた今こそ、また新たな目標を見つけ、自分の色をさらに磨いていってほしいと思います。

その色が他の人とまた交わり合いながら、新しい対馬高校の風景を創っていきましょう。桐鳳祭を大成功させた皆さんを誇りに思うとともに、協働の中でそれぞれの目標に向かって、新たな挑戦を応援したいと思います。

最後になりますが、私も心の中ではありますが皆さんといっしょに「テキーラ！」と叫んでいました。



10月4日

創立120周年記念 桐鳳祭

10月4日（土）、対馬高校の創立120周年を記念とした桐鳳祭を開催しました。今年度は「120th Anniversary ENJOY² ～倍の倍に楽しもう～」をテーマに、虹の原特別支援学校高等部対馬分教室やPTAのご協力の下、保護者や一般のお客様をお招きして開催しました。桐鳳祭実行委員の生徒を中心に、クラス、授業、部活動、有志など、さまざまな形で日頃の成果を発揮したり、展示やステージ発表・物品販売などを行ったりして、創立120周年を記念するにふさわしい活躍を存分に見せてくれました。

また、保護者の皆様やご協力いただきました地域の方々など、多くのご支援、ご協力により素晴らしい桐鳳祭を作り上げることができました。ありがとうございました。



10月8日 芸術鑑賞会

10月8日（水）対馬高校第1体育館にて令和7年度芸術鑑賞会を行いました。今年度は笑福亭呂好さんをお迎えして、上方落語を上演していただきました。軽妙なトークはとても面白く、落語も短いものから少し長いものまで楽しむことができました。体験コーナーでは生徒が羽織を着て、小噺や、扇子と手拭いを使った動きに挑戦し、大いに盛り上がりました。落語の基本的な部分から教えていただき、普段触れる機会の少ない落語を大いに楽しむことができました。笑福亭呂好さん、本当にありがとうございました。

～生徒の感想から一部抜粋～

- ・私は落語の公演会があると聞いたとき、まず落語って何だろう？と思っていたけど、芸術鑑賞会を通して、落語の魅力やおもしろさを知れたので良かった。
- ・生で見ると落語家の役のなりきり具合やししゃべり方、仕草に圧倒され、一人でやってるとは思えない満足感を味わうことができた。
- ・私は、笑福亭呂好さんのお話、落語を聴いて、落語をする上でのマナー、礼儀や落語を見る側での注意点などを教えていただいて、ほぼ初めての落語を気軽に楽しむことができたし、今まで持っていた落語の固い感じがなくなって、もっと身近なものだと思えるようになりました。



10月16日 人生の達人セミナー

10月16日（木）5、6校時、上対馬町比田勝でアナゴ漁を行いながら「すし処慎一」を営んでおられる築城慎一氏をお招きし、人生の達人セミナーを行いました。演題は「対馬の穴子が繋いでくれた今」で、築城氏はこれまで、“どうやったら上対馬に人を呼べるか”と奮闘してこられました。思いを同じくする飲食店・宿泊施設・レンタカー業者が集い「上対馬おもてなしネットワーク」を結成し、アイデアを出し合いながら地域に貢献しておられる経験をお話しいただきました。コロナ渦の苦しい時期を乗り越え、現在では地元の海を活かせるように“釣り体験学習や”“サップ体験”などを企画して、「海業」（漁村の人々が漁村の価値を活用し、所得向上と地域の活性化を図る取り組み）も行っておられます。セミナーでは多くの生徒が海の課題や仕事の生きがいについて質問をしました。最後に、2年5組の丹羽悠渚さんが、「海のない土地から対馬に来た私ですが、今日の講話で「漁師」のイメージが変わり、様々なところと連携をとって地域を活性化しようと動いているところに感銘を受けました。」とお礼の言葉を述べました。



実行委員長 2-1 國重 結来(弓道部・豊玉中出身)

① 今までの文化祭とは違い、120周年なので廊下や階段の装飾を豪華にしたり、対高の歴史をたどる展示を設置したりして特別感が出るように工夫しました。

② 実行委員長として始めは不安なことばかりで、私がやってよかったのだろうかと思いましたが、委員会のみんなと協力して準備をしていく中で不安を自信に変えることができて、自分の中の考え方を変えることができました。自分を大きく成長させる良い機会でした。



生徒会長 2-1 田中 蒼龍(野球部・厳原中出身)

① オープニング演出の担当だったので、演技もそうだし、学校の歴史をどのように伝えるかを工夫して取り組みました。過去と今を繋ぐ大切な役割だと思い、真剣に練習に取り組みました。また、人と積極的にコミュニケーションを取りました。

② すごく充実した桐鳳祭になりました。
創立120周年にふさわしい桐鳳祭になったと思います。
先生方、実行委員の全員で作上げたことを自信にして
これからの行事、学校生活に生かしていきたいです。
本当によい経験になりました！



生徒会長・企画展示班リーダー 2-1 築城 ひかり

(家庭クラブ部・豊玉中出身)

① 私は120周年記念展示ブースを担当しました。黒板アートや過去の写真などを使って1つの教室に対馬高校の歴史を詰め込みました。来てくれる人を楽しんでもらえるように写真を多く貼ったり写真撮影ブースを作ったりしました。違う班の活動を互いに手伝いながら協力して取り組むことができました。

② 時間が限られている中で休日も学校に来て作業をしたり、意見を出し合ったりして、一人ひとりが良いものを作ろうと取り組んできました。楽しいことばかりではなく、どちらかというと大変なことが多かったのですが、当日たくさんの人が楽しんでいる姿を見て、「頑張ってたかったな」と思いました。今は少し準備期間が恋しいです。協力して頂いたすべての方々に感謝したいです。



総合演出班リーダー 2-1 古藤 宗一郎

(家庭クラブ部、報道部・厳原中出身)

① 各グループ間で情報共有を行い、素晴らしいものが作れるようにした。

② 準備段階では、心配なことや大変なことも多々ありましたが、無事、大成功で終わることができて良かったです。



デザイン班リーダー 2-2 栗原 美羽

(家庭クラブ部・豆酸中出身)

① 私はデザイン班だったので、桐鳳祭の看板やステンドクラス、ポロニャンのパネルを作る作業を担当しました。途中でハプニングもあって焦ったけれど、できるだけ丁寧に作業できるように気をつけました。

② デザイン班は7人しかおらず、人数が少なかったため、作業が中々終わらなくて大変でした。しかし、他の班の人達が協力してくれたので、楽しく作業を進めながら完成させることができました。みんなで文化祭を作り上げることができて良かったです。



- ① 120周年記念桐鳳祭に向けて取り組んだこと、工夫したことは？
- ② 120周年記念桐鳳祭を終えて

11月

行事予定

- 1日(土) 対外模試(全)(~2日)
韓国文化体験(1年希望者)
- 5日(水) PTA進路セミナー(1年)
- 6日(木) ⑥DV予防教育講話
読書祭(放課後)
- 7日(金) 第2回漢検(放課後)
- 8日(土) 国文オープンスクール(~9日)
公務員模試①(2年)
対馬市PTA研修大会
- 9日(日) ハングル検定・第2回英検(2次)
全商ビジネス計算実務検定
- 10日(月) 島内企業見学会(2-4,2-6)
- 12日(水) 避難訓練
- 13日(木) 考査時間割発表
- 15日(土) 対外模試(3年)(~16日)
- 19日(水) 進学講演会(1年1・2・3組、2年1・2・3組)

- 20日(木) 期末考査(~26日)
- 23日(日) 全商ビジネス文書実務検定
- 27日(木) 代休
- 29日(土) 創立120周年記念式典
- 30日(日) 対外模試(3年)

対馬高校は、今年で創立120周年
●創立120周年記念式典・記念講演●
 11月29日(土)10:30~
 対馬市交流センターイベントホール



創立120周年
 一世代を超えて新しい未来に向けて